

【施策評価調査】

施策名	3-4-3	自主防犯組織の育成と強化		103	施策目的 安心して暮らせる地域社会を創るため、警察や自主防犯団体、住民と協力しながら自主防犯団体の育成強化等をとおして犯罪の起りにくいまちづくりを推進します。
		高根沢町地域経営計画2006	該当ページ		
担当部課	総務企画部 地域安全課	担当 リーダー	危機管理 岡本英男		施策内容 町防犯連絡協議会の各支部に対する育成や再編を促し、自主防犯組織の強化を図ります。また、町や各種団体との役割分担を明確にし、地域の安全を守るためのより強固な仕組みを構築します。 (「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
環境変化	平成17年の今市事件後盛り上がった防犯の機運が、マンネリ化し継続の重要性が問われている				

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：自主防犯活動(パトロール活動)年間実施回数(回)	平成16年度防犯パトロール実施回数	計画	2110	2740	2740	3014	3014
	565回	実績	2165回	2754回	2850回		
指標：年間刑法犯認知件数(件)	平成16年度刑法犯認知件数	計画	460	450	440	430	420
	466件	実績	350件	354件	342件		
指標：		計画					
指標：		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	1,000,000	1,180,000	1,220,000	1,000,000	
	決算	1,000,000	1,180,000	1,220,000		

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)	今後の方向性(総合評価)
自主防犯組織育成費	H21 現計 1,000,000	自主防犯団体の数	住民による防犯パトロール等が活発に行われることによって、地域の安全性が向上して安全で安心して暮らせるまちになる。	
	H22 計画 800,000			
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)
	H21 現計			今後の方向性(総合評価)
	H22 計画			今後の方向性(総合評価)

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	今後の方向性	後期計画に向けた施策展開のビジョン	H22年度の狙い
	現状水準維持	自主防犯団体協議会を活用し、情報を速やかに共有化することで、犯罪発生抑制に努める。また、地域間での防犯に対する温度差を解消して全町的な防犯体制の強化を図っていく。	地域の安心、安全を確保するため、各防犯団体が防犯パトロール等を行うことにより、犯罪の抑止等の効果が期待できる。また、自主防犯団体協議会(防犯連絡協議会、スクールガード、青バト隊等は、自主防犯団体協議会が包括している)への情報の提供や助言などの支援をして、事業を活発に実施できるよう環境を整え、地域の安全性を向上させる。新たな地域の防犯団体を育成し組織の拡大を図る。
総合評価	総合評価 これまでの取組みを生かしつつ、自主防犯組織の活性化に繋がるような意識の統一化や情報の共有化が図られたと評価する。 後期計画に向け、持続的に成長できるモチベーションなど、新しい視点での更なる組織の育成強化を期待する。		